

# 2023年より 土木学会論文集の構成が変わります！

土木学会論文集編集委員会

## はじめに

現在の土木学会論文集は、専門分野に分かれた19の分冊よりなる和文論文集と英文論文集からなります。また、和文論文集を構成する19の分冊は、通常号だけからなるもの、特集号だけからなるもの、そして、通常号と特集号の両者を有するものに分けられています。この構成は、2011年からスタートしたものであり、この10年間の出版を通じて、専門分野ごとの議論の深化、ならびに、各調査研究委員会における調査研究成果の発信に大きく貢献してきました。

土木学会論文集編集委員会では、この数年間、土木学会を代表する出版物である土木学会論文集のさらなる魅力の向上、また、国際化への対応に関して議論して参り

ました。そして2023年から、国内の最新の研究成果・技術を、国内と海外に向けて迅速かつ確実に発信するために、和文論文集と英文論文集の位置付けを明確にし、また、和文論文集においては、これまでの分冊出版を見直し、通常号と特集号を一つの論文集にまとめた新しい構成にすることにしました。

## 論文集再編の概要

図1は、和文論文集の現在の構成と新しい構成を示したものです。新しい構成では、和文論文集の英語名はJapanese Journal of JSCEとして、英文論文集の名前はJournal of JSCEとして、両者が明確に区別され、J-Stage上で公開されます。論文掲載の具体については、英文論文集に関しては、これまで和文論文集の特集号に

土木学会論文集 (Japanese Journal of JSCE)	
掲載カテゴリ	投稿カテゴリ
構造工学、地震工学、応用力学	構造工学、地震工学
	応用力学
	河川・海岸・海洋工学と水文学
水工学	水工学
	海岸工学
	海洋開発
地圏工学	地圏工学
	トンネル工学
	地下空間研究
土木計画学	景観・デザイン
	土木史
	土木計画学(方法と技術)
	土木計画学(政策と実践)
建設材料と構造	コンクリート工学
	舗装工学
	木材工学
土木技術とマネジメント	土木情報学
	建設マネジメント
	土木技術者実践
	安全問題
環境と資源	環境・資源
土木工学における人材育成と教育	教育・人材

(b) 2023年以降の構成

土木学会論文集 (Journal of Japan Society of Civil Engineers)	
土木学会論文集A1(地震・構造工学)	
土木学会論文集A2(応用力学)	
土木学会論文集B1(水工学)	
土木学会論文集B2(海岸工学)	
土木学会論文集B3(海洋工学)	
土木学会論文集C(地圏工学)	
土木学会論文集D1(景観・デザイン)	
土木学会論文集D2(土木史)	
土木学会論文集D3(土木計画学)	
土木学会論文集E1(舗装工学)	
土木学会論文集E2(材料・コンクリート構造)	
土木学会論文集F1(トンネル工学)	
土木学会論文集F2(地下空間研究)	
土木学会論文集F3(土木情報学)	
土木学会論文集F4(建設マネジメント)	
土木学会論文集F5(土木技術者実践)	
土木学会論文集F6(安全問題)	
土木学会論文集G(環境)	
土木学会論文集H(教育)	

(a) 現在の構成

図1 和文論文集の構成の比較

掲載されていた英文論文を、英文論文集に移行させること以外これまでと違いはありませんが、和文論文集に関しては大きく変わります。今後、和文論文集に投稿される論文は、著者が投稿時に選択する掲載カテゴリごとに審査され、該当する掲載カテゴリに振り分けられ、J-Stage上

で掲載されます。

新しい土木学会論文集では、これまでの通常号と特集号の論文は、巻(Vol)の中に設けられる号(NO)より分けられます。表1に2023年の構成を示します。これまでの通常号の論文は、毎月公開するNo.1からNo.12に、先に示しまし

表1 2023年の和文論文集の巻 (Vol.) と号 (No.)

Year	論文集構成	Vol. と No.	
2023	通常号 (1月公開)	Vol.79	No.1
2023	通常号 (2月公開)	Vol.79	No.2
2023	通常号 (3月公開)	Vol.79	No.3
	.		
	.		
2023	通常号 (12月公開)	Vol.79	No.12
2023	特集号 (地震工学)	Vol.79	No.13
2023	特集号 (複合構造)	Vol.79	No.14
2023	特集号 (応用力学)	Vol.79	No.15
2023	特集号 (水工学)	Vol.79	No.16
2023	特集号 (海岸工学)	Vol.79	No.17
2023	特集号 (海洋開発)	Vol.79	No.18
2023	特集号 (トンネル)	Vol.79	No.19
2023	特集号 (土木計画学)	Vol.79	No.20
2023	特集号 (舗装工学)	Vol.79	No.21
2023	特集号 (土木情報学)	Vol.79	No.22
2023	特集号 (建設マネジメント)	Vol.79	No.23
2023	特集号 (安全問題)	Vol.79	No.24
2023	特集号 (環境工学)	Vol.79	No.25
2023	特集号 (環境システム)	Vol.79	No.26
2023	特集号 (地球環境)	Vol.79	No.27
2023	特集号 (木材工学)	Vol.79	No.28

表2 Editorial bord と関連する委員会との関係

Editorial bord	委員会における役職
Chair	編集委員会委員長
Vice Chair	編集委員会副委員長
Managing Editor	編集委員会幹事長および副幹事長
Editor	投稿カテゴリごとに設置される編集小委員会の委員長
	調査研究委員会に設置される特集号編集委員会委員長
Associate editor	投稿カテゴリごとに設置される編集小委員会の委員
	調査研究委員会に設置される特集号編集委員会の委員

た掲載カテゴリに分けて掲載され、一方、特集号は、No.13以降の号に掲載されます。

## 編集および審査体制

土木学会論文集は、これまでと同じように土木学会論文集編集委員会により出版されます。ただし、19の分冊がなくなることに伴い、論文審査に関しては、和文論文集に対しても英文論文集に対しても同一の Editorial bord が責任を持つこととなります。表2には、Editorial bord と関連する委員会との関係が示されています。

## 2次出版の取り扱い

現在、和文論文集に掲載された英訳論文の英文論文集への投稿(和文論文の2次出版)を一部の分冊で認めています。これは、海外への情報発信を強化するためです。さらに、2023年からは、国際ジャーナルに掲載された論文の和訳論文の和文論文集への投稿を認めます。これにより、土木学会論文集の読者が、海外に発表されている日本の質の高い研究成果に触れることができます。

なお、投稿には条件を設けてあります。

詳細は投稿要項にてご確認ください。

## スケジュール

2022年1月より論文投稿受付を行い、2023年1月から新しい土木学会論文集を「Springer」上で公開いたします。なお、これに合わせまして、世界で7500誌以上、日本でも200誌以上が利用している Editorial Manager を論文投稿・査読システムとして採用することいたしました。新しい土木学会論文集への投稿をお待ちしております。

オンライン土木博物館

ドボ博

DOBOHAKU

www.dobohaku.com

www.facebook.com/dobohaku

写真:「東京インフラ065 羽田空港」より 撮影:大村拓也